

令和8年度 9月定例教育委員会



福岡市教育委員会

令和 8 年度 9 月 定例教育委員会

日時 令和 8 年 9 月 10 日(木) 午後 2 時

場所 市民窓口館 102 会議室

次 第

- 1 開会
- 2 教育長挨拶
- 3 前回議事録の承認及び今回議事録署名委員の指名
(9 月議事録署名委員 鎮目委員、押山委員)
- 4 教育長報告
- 5 各課報告、連絡事項
- 6 議事
 - 報告第 3 号 令和 8 年笛吹市議会第 3 回定例会提出議案について
 - 議案第 14 号 令和 8 年度教育に関する事務の点検・評価報告書(令和 7 年度実施事業)について
 - 議案第 15 号 動産の取得について(ゼロトラスト環境構築用サーバー購入)
 - 議案第 16 号 動産の取得について(学校ネットワーク改善用機器類購入)
- 7 その他
- 8 閉会

次回定例教育委員会 日時 令和 8 年 10 月 9 日(金) 午前 10 時

場所 市民窓口館 302・303 会議室

報告第3号（9月）

令和8年笛吹市議会第3回定例会の報告
について

教育委員会

令和 8 年笛吹市議会第 3 回定例会会期日程

○会 期：令和 8 年 8 月 31 日（火）～9 月 25 日（金）

26 日間

月 日	曜日	会議名等	開議時間	議 事 等
8 月 24 日	月	議会運営委員会	午前 9 時 30 分	・会期日程等協議
		全員協議会	午前 10 時 30 分	
31 日	月	本 会 議	午後 1 時 30 分	・市長行政報告・提出議案説明 ・決算審査報告
9 月 1 日	火	休 会		
2 日	水	休 会		
3 日	木	休 会		
4 日	金	休 会		
5 日	土	休 会		
6 日	日	休 会		
7 日	月	本 会 議	午前 10 時	・議案に対する質疑及び代表質問
8 日	火	本 会 議	午前 10 時	・議案に対する質疑及び一般質問 ・付託
9 日	水	本 会 議	午前 10 時	・議案に対する質疑及び一般質問 （予備日）
10 日	木	休 会	午前 9 時	常任委員会 ・付託事件審査
11 日	金	休 会	午前 9 時	常任委員会 ・付託事件審査
12 日	土	休 会		
13 日	日	休 会		
14 日	月	休 会	午前 9 時	常任委員会 ・付託事件審査(決算認定)
15 日	火	休 会	午前 9 時	常任委員会 ・付託事件審査(決算認定)
16 日	水	休 会	午前 9 時	常任委員会 ・付託事件審査(決算認定)
17 日	木	休 会	午前 9 時	（常任委員会予備日）
18 日	金	休 会		
19 日	土	休 会		
20 日	日	休 会		
21 日	月	休 会		
22 日	火	休 会		
23 日	水	休 会		
24 日	木	休 会		
25 日	金	議会運営委員会	午前 10 時	
		全員協議会	午前 11 時	
		本 会 議	午後 1 時 30 分	・委員会の審査報告・討論・採決

令和8年笛吹市議会第3回定例会提出議案一覧表(令和8年8月31日提出(告示日8月24日配布))

件数	議案番号	題 名	主管課
1	報告第5号	令和7年度笛吹市財政健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率の報告について	財政課
2	承認第4号	令和8年度笛吹市一般会計補正予算(第3号)の専決処分の承認を求めることについて	財政課
3	議案第70号	笛吹市認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	総務課
4	議案第71号	笛吹市地下水資源保護審議会条例の一部改正について	環境推進課
5	議案第72号	笛吹市税条例の一部改正について	税務課
6	議案第73号	笛吹市手数料条例の一部改正について	税務課
7	議案第74号	笛吹市福祉センター条例の一部改正について	福祉総務課
8	議案第75号	笛吹市子ども・子育て会議設置条例及び笛吹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	保育課
9	議案第76号	笛吹市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正について	保育課
10	議案第77号	笛吹市スポーツ推進審議会条例の一部改正について	生涯学習課
11	議案第78号	令和8年度笛吹市一般会計補正予算(第4号)について	財政課
12	議案第79号	令和8年度笛吹市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	財政課
13	議案第80号	令和8年度笛吹市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	財政課
14	議案第81号	令和8年度笛吹市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	財政課
15	議案第82号	令和8年度笛吹市森林経営管理特別会計補正予算(第1号)について	財政課
16	議案第83号	令和8年度笛吹市黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
17	議案第84号	令和8年度笛吹市大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
18	議案第85号	令和8年度笛吹市稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
19	議案第86号	令和8年度笛吹市牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
20	議案第87号	令和8年度笛吹市大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課

令和8年度笛吹市議会第3回定例会提出議案一覧表(令和8年8月31日提出(告示日8月24日配布))

件数	議案番号	題 名	主管課
21	議案第88号	令和8年度笛吹市崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
22	議案第89号	令和8年度笛吹市名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
23	議案第90号	令和8年度笛吹市春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
24	議案第91号	令和8年度笛吹市兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計補正予算(第1号)について	財政課
25	議案第92号	令和7年度笛吹市一般会計歳入歳出決算認定について	財政課
26	議案第93号	令和7年度笛吹市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
27	議案第94号	令和7年度笛吹市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
28	議案第95号	令和7年度笛吹市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
29	議案第96号	令和7年度笛吹市境川観光交流センター特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
30	議案第97号	令和7年度笛吹市森林経営管理特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
31	議案第98号	令和7年度笛吹市黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
32	議案第99号	令和7年度笛吹市大積寺山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
33	議案第100号	令和7年度笛吹市稲山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
34	議案第101号	令和7年度笛吹市牛ヶ額恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
35	議案第102号	令和7年度笛吹市大口山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
36	議案第103号	令和7年度笛吹市崩山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
37	議案第104号	令和7年度笛吹市名所山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
38	議案第105号	令和7年度笛吹市春日山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
39	議案第106号	令和7年度笛吹市兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会特別会計歳入歳出決算認定について	財政課
40	議案第107号	令和7年度笛吹市水道事業会計決算認定について	企業総務課

令和8年笛吹市議会第3回定例会提出議案一覧表(令和8年8月31日提出(告示日8月24日配布))

件数	議案番号	題 名	主管課
41	議案第108号	令和7年度笛吹市営春日居地区温泉給湯事業会計決算認定について	企業総務課
42	議案第109号	令和7年度笛吹市公共下水道事業会計決算認定について	企業総務課
43	議案第110号	令和7年度笛吹市簡易水道事業会計決算認定について	企業総務課
44	議案第111号	令和7年度笛吹市農業集落排水事業会計決算認定について	企業総務課
45	議案第112号	契約の締結について(芦川グリーンロッジ改修工事(建築主体)(債務))	観光商工課
46	議案第113号	変更契約の締結について(春日居福祉会館大規模改修工事(建築主体)(債務))	福祉総務課
47	議案第114号	動産の取得について(ゼロトラスト環境構築用サーバー購入)	学校教育課
48	議案第115号	動産の取得について(学校ネットワーク改善用機器類購入)	学校教育課
49	議案第116号	市道認定について	土木課

令和8年度 9月補正 予算見積総括表

教育委員会 部（局）

（単位：千円）

課 名	歳出見積額	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
教育総務課	9,177				8,544	633
学校教育課	206				206	0
生涯学習課	19,891			22,600	7,675	-10,384
文化財課	2,653					2,653
図書館						0
						0
						0
						0
部（局）計	31,927	0	0	22,600	16,425	-7,098

教育委員会所管 予算・決算総括表 (一般会計)

【歳 入】

款	項	予算現額	決算額	増減額	備考
13	分担金及び負担金	41,183,000	41,452,390	269,390	
	02 負担金	41,183,000	41,452,390	269,390	
14	使用料及び手数料	1,573,000	2,150,039	577,039	
	01 使用料	1,573,000	2,150,039	577,039	
15	国庫支出金	370,129,000	353,274,000	▲ 16,855,000	
	02 国庫補助金	370,129,000	353,274,000	▲ 16,855,000	
16	県支出金	24,846,000	26,026,328	1,180,328	
	02 県補助金	23,110,000	24,036,000	926,000	
	03 県委託金	1,736,000	1,990,328	254,328	
17	財産収入	0	0	0	
	02 財産売払収入	0	0	0	
21	諸収入	6,440,000	7,623,890	1,183,890	
	02 市預金利子	0	82	82	
	04 雑入	6,440,000	7,623,808	1,183,808	
教育委員会歳入計		444,171,000	430,526,647	▲ 13,644,353	

教育委員会所管 予算・決算総括表 (一般会計)

【歳 出】

款	項	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
10 教育費		6,244,047,000	5,232,077,889	467,445,000	545,151,807	
	01 教育総務費	762,341,000	683,236,216		79,104,784	89.62
	02 小学校費	544,386,000	484,576,868	26,541,000	33,268,132	89.01
	03 中学校費	1,935,081,000	1,667,274,044	161,589,000	106,217,956	86.16
	04 社会教育費	1,647,678,000	1,185,831,865	269,399,000	192,447,135	71.96
	05 保健体育費	444,703,000	392,165,359		52,537,641	88.18
	06 学校給食費	911,668,000	820,175,841	9,916,000	81,576,159	89.96
教育委員会歳出計		6,245,857,000	5,233,260,193	467,445,000	545,151,807	83.78

議案第14号（9月）

令和8年度教育に関する事務の点検・評価報告書(令和7年度実施事業)について

※別添資料

教育委員会

令和 8 年度
教育に関する事務の点検・評価報告書
(令和 7 年度実施事業)

令和 8 年 9 月
笛吹市教育委員会

笛吹市教育委員会事務事業の点検・評価に対する概要

1 点検・評価の趣旨

笛吹市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項(教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。)の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的に、教育委員会の事務事業を点検し評価する。

2 点検・評価の実施方法

令和 7 年度に教育委員会が実施した 148 の事務事業のうち、第二次笛吹市総合計画令和 7 年度実施計画に掲載されている 40 の主要事業(教育総務課 8 事業、学校教育課 10 事業、生涯学習課 12 事業、文化財課 9 事業、図書館 1 事業)について、課ごとに実施内容や課題を点検し、評価を行います。

令和 8 年 9 月

笛吹市教育委員会

目 次

第1章 教育委員会の活動状況	1
第2章 事務局各課	
第1節 教育総務課	3
第2節 学校教育課	10
第3節 生涯学習課	18
第4節 文化財課	29
第5節 図書館	36
資料 令和7年度事務事業一覧表	38

第1章 教育委員会の活動状況

1 組織体制(令和7年4月1日)

教育委員	教育長1人、職務代理者1人、委員4人
事務局職員	教育部長1人 課長級以下職員(4課1館)正規職員43人 再任用職員4人、会計年度任用職員223人(フルタイム37人、パートタイム186人)

2 活動概要

(1) 教育委員会の会議

毎月1回の定例会及び3回の臨時会を開催しました。

定例・臨時		協議件数	報告件数	その他
定例会	12回	44件	11件	0件
臨時会	3回	2件	2件	0件

(2) 教育長、教育委員の主な視察研修等

教育行政に関する情報収集や意見交換により、教育上の諸課題の解決に向けた委員の相互理解を深めるため、視察研修会等に参加しました。

事業名	期日	場所	内容
峡東地区教育委員会連合会定期総会	令和7年7月	山梨市役所 西館4階 (401号会議室)	総会
山梨県市町村教育委員会連合会秋季研修会	令和7年10月	都の杜うぐいすホール (都留市)	研修会
峡東地区教育委員会連合会研修会	令和7年10月	東京都町田市教育センター 地下鉄博物館	視察研修
山梨県市町村教育委員会連合会総会及び春季研修会	令和8年2月	都の杜うぐいすホール (都留市)	総会及び研修会

(3) 教育長、教育委員の主な活動

対象内容	回・学校数	内容	備考
学校訪問	1 回 19 校	学校ごとに授業参観、校舎等施設の視察、教職員との意見交換等を実施	
入学式、卒業式	1 回 19 校	式典参加 (市長、副市長、各部長、各支所長、教育長、教育委員、教育部長、教育委員会各課(館)長、指導主事)	
運動会、学園祭	1 回 19 校	式典参加 (教育長、教育委員、教育部長、教育委員会各課(館)長、指導主事)	
各種会議等		県連及び峡東地区連会議出席、総合教育会議、市主催会議及び行事参加	

3 点検・評価

教育委員会の会議については、毎月 1 回の定例会及び必要に応じて臨時会を行うこととなっており、令和 7 年度においては、2 活動概要(1)のとおり開催しました。原則的に会議は公開とし、議事録は、市のホームページで公表しています。

また、令和 7 年度に開催された総合教育会議では、「英語教育推進事業」及び「市立中学校制服及び体育着の共通化」について、市長と意見交換等を行い、相互に連携を図り、教育の諸課題や目指す姿等を共有しながら、両者が同じ方向性のもと教育行政の推進に努めることを確認しました。

第2章 事務局各課

第1節 教育総務課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数 (人)
課長	教育総務課所管事務の統括	1
総務担当	教育委員会の庶務、教育予算の管理、叙勲・栄典等	2
施設管理担当	学校、社会教育、社会体育、その他教育施設設備に関する改修工事・営繕等	3
学校給食担当	学校給食事務・予算、調理場運営、共同調理場給食費管理、南部学校給食センター建設	2
市費負担栄養士	献立作成、食材発注、調理指導、食育指導	(6)
学校給食単独調理場	給食調理、食材の発注・支払、給食費の徴収(各校)	3(19)
	正規 11 人、会計年度任用職員 25 人 ()は再任用・会計年度任用職員	11(25)

2 担当課実施事業 事務事業 33 事業

教育総務課は、教育委員会事務局の統括課として教育委員会の庶務を担当し、各課との連絡調整を図りながら教育委員会全体の適正な事務の執行に努めています。

総務担当は、教育委員会の管理的な事務をはじめ 7 事業を実施し、教育委員会事務局全体が円滑に運営できるよう努めています。

施設管理担当は、学校施設、社会教育施設、社会体育施設、文化施設、給食調理施設の施設設備整備に関する 14 事業を実施しました。

学校給食担当は、5 つの共同調理場と 3 校の自校方式調理場の運営及び維持管理を行い、安全で安心できる給食の安定供給のほか、給食費の公会計化など給食全般に関する 12 事業を実施しました。

主要事業概要(点検・評価対象事業 8 事業)

(1) 小学校施設整備事業

【予算、決算額等】

事業予算額 135,772 千円 支出済額 105,442 千円(執行率)77.7%

財源内訳 国庫補助金 5,973 千円 市債 51,300 千円 基金繰入金 8,568 千円
一般 39,601 千円

【事業目的】

小学校施設の計画的改修工事により、適正な教育環境を確保する。

【実施内容】

春日居小学校校舎は、老朽化による雨漏りが発生していたことから、屋上防水工事を実施。富士見小学校、一宮西小学校及び石和西小学校は、特別教室へ空調設備設置工事を行った。

また、設計業務では、石和南小学校特別教室空調設備設置業務を実施した。

【評価】

春日居小学校校舎防水改修工事及び3小学校への空調設備設置工事により、安全安心な学習環境の改善を図ることができた。

【歳入】

ア 国庫補助金 5,973 千円(学校施設環境改善交付金)

イ 市債 24,400 千円(学校教育施設等整備事業債)

26,900 千円(補正予算債)

ウ 基金繰入金 8,568 千円(まちづくり基金繰入金)

【歳出】

ア 修繕料 32,682 千円(162 件)

イ 委託料 2,365 千円

(ア) 石和南小学校特別教室空調設備設置工事設計業務委託 880 千円

(イ) 春日居小学校屋上防水改修工事監理業務委託 495 千円

(ウ) 富士見小学校ほか2校特別教室空調設備設置工事監理業務委託 990 千円

※翌年度繰越 548 千円

ウ 工事請負費 70,394 千円

(ア) 春日居小学校屋上防水改修工事 32,044 千円

(イ) 石和北小学校電気設備改修工事 1,732 千円

(ウ) 春日居小学校特別支援教室改修工事 3,102 千円

(エ) 富士見小学校ほか2校特別教室空調設備設置工事 33,517 千円

※翌年度繰越 25,993 千円

【課題】

全体的に校舎等施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を付け計画的に取り組む必要がある。

(2) 中学校施設整備事業

【予算、決算額等】

事業予算額 90,758 千円 支出済額 53,428 千円(執行率)58.9%

財源内訳 市債 31,000 千円 基金繰入金 10,600 千円 一般 11,828 千円

【事業目的】

中学校施設の計画的改修工事により、適正な教育環境を確保する。

【実施内容】

春日居中学校校舎は、老朽化による雨漏りが発生していたことから、屋上防水工事を実施するとともに校舎防球ネットの改修を行った。

設計業務では、一宮中学校部室棟改築工事、石和中学校屋上防水工事及び一宮中学校を実施したほか、春日居中学校特別教室空調設備設置工事を行った。

【評価】

春日居中学校施設整備の実施により、安全安心な学習環境の改善を図ることができた。

【歳入】

ア 市債 31,000 千円(学校教育施設等整備事業債)

イ 基金繰入金 10,600 千円(まちづくり基金繰入金)

【歳出】

ア 修繕料 11,828 千円

イ 委託料 7,093 千円

(ア) 春日居中学校屋上防水他改修工事監理業務委託 495 千円

(イ) 一宮中学校部室棟改築工事設計業務委託 2,970 千円

(ウ) 石和中学校屋上防水改修工事設計業務委託 1,670 千円

(エ) 一宮中学校ほか1校特別教室空調設備設置工事設計業務委託 1,958 千円

ウ 工事請負費 34,507 千円

(ア) 春日居中学校屋上防水改修工事 30,316 千円

(イ) 春日居中学校防球ネット設置工事 4,191 千円

【課題】

全体的に校舎等施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を付け計画的な改修等の必要がある。

(3) 御坂中学校校舎等改築事業

【予算・決算額等】

事業予算額 1,640,036 千円 支出済額 1,425,726 千円(執行率)86.9%

財源内訳 国庫補助金 251,105 千円 市債 529,600 千円

基金繰入金 240,595 千円 一般 404,426 千円

【事業目的】

御坂中学校校舎及び柔剣道場の老朽化に伴い、改築及び改修を行い、安全安心で適正な学校施設の整備を行う。

【実施内容】

新校舎改築工事、旧校舎解体工事及び工事に伴う仮設校舎等(リース)を設置。

【評価】

新校舎が令和7年12月に完成し、3学期から供用開始となった。また、生徒等への影響についても特段の支障はなかった。

【歳入】

ア 国庫補助金 251,105 千円(学校施設環境改善交付金)

イ 市債 529,600 千円(学校教育施設等整備事業債)

ウ 基金繰入金 240,595 千円(まちづくり基金繰入金)

【歳出】

- ア 需用費 1,150 千円(消耗品費)
 - イ 役務費 501 千円(建築確認申請料)建築確認申請料)
 - ウ 委託料 27,523 千円(校舎等改築工事監理業務委託)
 - エ 使用料及び賃借料 84,266 千円(仮設校舎リース料)
 - オ 工事請負費 1,262,753 千円
 - (ア) 校舎改築工事(建築主体) 770,330 千円
 - (イ) 部室棟改修工事(電気設備) 120,897 千円
 - (ウ) 部室棟改修工事(機械設備) 237,079 千円
 - (エ) 校舎解体工事(2 期) 79,057 千円
 - (オ) 御坂中学校躯体解体及び外構工事(前払) 55,390 千円
 - カ 備品購入費 49,533 千円(生徒用机、椅子等)
- ※予算のうち工事請負費 128,778 千円は令和 8 年度へ繰越明許

【課題】

校舎改築工事及び柔剣道場改修工事を進めるに当たり、生徒の安全確保を最優先とする中で、学校生活や活動への影響を最小限とする計画に基づき工事を進める必要があった。

(4) 学校徴収金徴収事業

【予算、決算額等】

事業予算額 2,862 千円 支出済額 2,063 千円(執行率)72.1%
 財源内訳 一般 2,063 千円

【事業目的】

徴収業務を教育委員会が行い、教職員の業務負担の軽減、保護者の利便性の向上を図る。

【実施内容】

児童生徒約 4,450 人分の口座引落としを行う(毎月、依頼データの作成、金融機関への依頼データの送信、金融機関からの結果データの受領、引落した徴収金を学校へ送金する)。

【評価】

適正な徴収業務により、教職員の業務負担の軽減が図れ、授業準備や児童生徒と向き合う時間の確保に寄与できた。また、保護者についても、現金徴収から口座振替となったことで、利便性の向上を図ることができた。

【歳出】

- ア 役務費 1,788 千円(口座引落とし手数料)
- イ 使用料及び賃借料 275 千円(インターネットバンキング利用料)

【課題】

事業目的や徴収金の内容から、所管の見直しについて検証する必要がある。

(5) 小中学校や保育所等の給食費無償化(学校給食費管理事業)

【予算、決算額等】

事業予算額 352,198 千円 支出済額 336,127 千円(執行率)95.4%

財源内訳 負担金 336,027 千円 一般 100 千円

【事業目的】

子育て世帯の負担を軽減を図るため、市独自で小中学校の給食費無償化を実施する。

【実施内容】

市内小中学校 19 校の児童及び生徒約 4,450 人に対して、年間 872,000 食の給食を無償で提供した。

また、給食費の滞納事案は裁判所への申立てをするなどし、滞納額 82,509 円のうち、26,390 円を徴収することができた。

【評価】

給食費の無償化により、子育て世帯の負担軽減につながった。

【歳入】

ア 負担金 41,426 千円(学校給食費負担金(現年))
27 千円(学校給食費負担金(過年))

イ 基金繰入金 294,574 千円(まちづくり基金繰入金)

【歳出】

ア 需用費 336,100 千円(賄材料費)

イ 役務費 27 千円(公金収納手数料)

【課題】

令和 8 年度から、給食費 1 人当たり 5,200 円/月の「給食費負担軽減事業費補助金」を活用するが、公立小学校における令和 7 年度の児童 1 人当たりの給食費が、5,820 円/月であったことから、引き続き、一般財源からの負担が続く。

また、令和 4 年 10 月から給食費は無償化となったため、滞納者及び滞納額は増えてはいないものの、滞納金に対する継続対応は必要である。

(6) 小中学校給食運営事業(単独調理場事業)

【予算、決算額等】

事業予算額 4,378 千円 支出済額 3,677 千円(執行率)84.0%

財源内訳 一般 3,677 千円

【事業目的】

単独調理場 3 か所(境川小学校、芦川小学校、石和中学校)において、安定的に安全安心でおいしい給食を提供する。

【実施内容】

自校方式 3 校(境川小学校、芦川小学校、石和中学校)の調理場に係る給食運営(消耗品、燃料費、通信費)及び機器の維持管理(修繕料、委託料、使用料)を行う。

【評価】

機器類の経年劣化はあるが、保守点検や修繕等により、3 校約 650 人に対して安全安心でおいしい給食(約 127,000 食)を安定的に提供することができた。

【歳出】

ア 需用費 201 千円(調理器具修繕料)

イ 委託料 3,347 千円

(ア) 学校給食調理場維持管理業務委託 3,347 千円

ウ 使用料及び賃借料 129 千円(防虫機器リース料)

【課題】

境川小学校及び芦川小学校調理場は、御坂学校給食共同調理場及び八代学校給食センターと統合して笛吹市南部学校給食センターとなる。統合までの間、機器類の経年劣化から不具合が多数発生する可能性があるものの、修繕等にかかる費用の見込みが難しい。

(7) 共同調理場事業

【予算、決算額等】

事業予算額 66,826 千円 支出済額 63,280 千円(執行率)94.1%

財源内訳 一般 63,280 千円

【事業目的】

共同調理場 5 か所(石和、御坂、一宮、八代、春日居)において、安定的に安全安心でおいしい給食を提供する。

【実施内容】

センター方式 5 調理場(石和、御坂、一宮、八代、春日居)の給食運営(消耗品、光熱水費、燃料費、通信費)及び機器の維持管理(修繕料、委託料、使用料)を行う。

【評価】

調理員の人材確保、機器類の保守点検や修繕等により、16 校約 3,800 人に対して安全安心でおいしい給食(約 745,000 食)を安定的に提供することができた。

【歳出】

ア 旅費 193 千円(栄養士旅費)

イ 需用費 43,959 千円(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料)

ウ 役務費 2,358 千円(通信運搬費、手数料、保険料)

エ 委託料 11,564 千円

(ア) 学校給食共同調理場維持管理業務委託(24 件) 11,564 千円

オ 使用料及び賃借料 1,116 千円(衛生用品、防虫機器リース料)

カ 備品購入費 3,857 千円(冷蔵庫、配缶用台車等)

キ 公課費 233 千円(配送トラック重量税)

【課題】

御坂学校給食共同調理場及び八代学校給食センターは、境川小学校及び芦川小学校と統合して笛吹市南部学校給食センターとなる。統合までの間、機器類の経年劣化から不具合が多数発生する可能性があるものの、修繕等にかかる費用の見込みが難しい。

(8) 新学校給食センター建設事業(南部学校給食センター建設事業)

【予算、決算額等】

事業予算額 32,275 千円 支出額 7,345 千円(執行率) 22.8%

財源内訳 基金繰入金 7,345 千円

【事業目的】

児童生徒に、安全安心でおいしい給食を安定的に提供するため、老朽化の進んだ、御坂、八代、境川、芦川の4給食施設を統合し、アレルギーにも対応した南部学校給食センターを建設する。

【実施内容】

南部学校給食センターの建設に当たり、用地測量調査を実施したほか、厨房設計業務、地質調査業務、建設設計業務について、業者を選定し業務を開始した。

【評価】

令和10年度中の建設に向け、事業を進めることができた。

【歳入】

ア 基金繰入金 7,345 千円(まちづくり基金繰入金)

【歳出】

ア 委託料 7,345 千円(用地測量調査業務)

※予算のうち、建設工事設計業務委託料9,916千円は令和8年度に事故繰越

3 総括

総務担当は、教育委員会の事務局として教育委員の各種活動や定例教育委員会等が円滑に行えるよう、各課及び関係機関との連携を密にし、業務の適正な執行に努めました。

施設管理担当は、個別施設計画に基づき、御坂中学校校舎等改築事業を進めると同時に、老朽化が顕著である他の小中学校施設等について、大規模改修や建替え等を計画的に行い、維持管理等に係るトータルコストの縮減と予算の平準化を図り、適正な教育環境の整備に努めました。

学校給食担当は、5か所の共同調理場と3校の自校方式調理場の適切な運営と維持管理に努め、衛生管理や食物アレルギーに適切に対応しながら安全安心でおいしい給食を安定的に提供するとともに、食育を通して子供達の心身の健康増進を図っています。また、学校給食費の徴収、管理、各種支払い、滞納対策等の業務と、学校徴収金の徴収業務を行い教職員の負担軽減、保護者の利便性向上に努めました。

第2節 学校教育課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数 (人)
課 長	学校教育課所管事務の統括	1
教育監	市内小中学校所管事務の統括	1
学務担当	学校予算、就学援助、A L T、学校医、特別支援、学校安全、就学時健康診断、就学事務、スクールバス運営、日本スポーツ振興センター保険、市交付学校補助金関係、学生ボランティア、運動部活動指導員任用、学校プールの民間活用事業、ICTの整備、教師用教科書・指導書等整備事業(小・中学校)等	8(5)
指導主事	学校教育ビジョンの具現化、教職員人事、生徒指導上の問題、就学指導・相談、教師の授業力向上支援及び校内研究指導助言	2
市費負担講師 学校サポーター 学校サポーター(介助) 学力向上支援スタッフ 外国語指導助手(ALT) 部活動指導員 スクールサポートスタッフ	児童・生徒の学習指導や補助、特別な支援を要する児童・生徒への支援、教員の授業支援、部活動支援、肢体不自由児童のサポート支援及び教職員業務のサポート	(112)
学校図書館司書	小中学校図書館の運営及び教育指導への支援	1(17)
用務員	教育環境の整備その他の用務	(18)
メール便	メール便の運行	(1)
スクールバス	スクールバス運行(石和・御坂・八代・境川・芦川地区)	(4)
ふえふき 教育相談室	教育相談、就学相談や支援、特別支援や発達障害等支援、学校健康保健、不登校や生徒指導の支援等	(5)
教育支援センターステラ	不登校児童生徒への学習支援	(6)
	正規 13 人、再任用 1 人、会計年度任用職員 168 人 ()は再任用・会計年度任用職員	13(169)

2 担当課実施事業 事務事業 24 事業

学校教育課は、市内小中学校 19 校の運営管理に努めています。学務担当は、小中学校の学校教育事業、教育相談、児童・生徒の就学支援・指導及び保健・安全に関する学校全般の事務執行 20 事業を実施しました。

主要事業概要(点検・評価対象事業 10 事業)

(1) 教育相談事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 14,217 千円 支出済額 12,795 千円(執行率)89.9%

財源内訳 一般 12,795 千円

イ【事業目的】

教育相談室長、教育相談員及び指導主事が就学に向けた支援や児童生徒や保護者の悩み、不登校、問題行動等の幅広い相談に応じる。

ウ【実施内容】

電話や来室の相談以外にも、保育所・幼稚園等、小中学校・特別支援学校、児童発達支援センター等と連携し、適切な就学や諸課題の早期解決に向けた支援を行っている。

エ【評価】

特別支援学校への入学や特別支援学級への入級を含め、障がいを持つ児童生徒のスムーズな就学への支援ができた。

また、不登校や特性からくる不適應、家庭内の問題等に対して、保護者や学校への的確な指導・支援、そして関係機関との連携ができた(教育相談室 電話及び来室相談 1,976 件)。

オ【歳出】

1 報酬 7,816 千円 2 職員手当等 2,888 千円 3 共済費 1,566 千円

4 報償費 308 千円 5 旅費 122 千円 6 需用費 95 千円

カ【課題】

発達検査を行う公認心理師の確保に課題がある。

不登校を含めた学校不適應への対応には、保護者、学校、医療、児童相談所及び市役所他部局との連携なしには改善が見込めない。くわえて、個々のケースが多様化していることもあり、室長、指導主事及び相談員への負担が重くなっている。

(2) 教育支援センター事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 19,560 千円 支出済額 18,044 千円(執行率)92.25%

財源内訳 一般 18,044 千円

イ【事業目的】

不登校児童生徒の個々の状況に応じた学習支援や集団適応指導を行い、学校復帰や社会

的自立への主体的な一歩を支援する。

ウ【実施内容】

不登校児童生徒に対して保護者や在籍校と連携をとりながら、学習指導、体験活動、生活習慣改善のための相談及び適応指導等を行った。連携協定を活用し、甲斐ゼミナールでの学外教育支援を行っている。

エ【評価】

保護者や在籍校との緊密な連携による段階的な集団生活への適応支援を行うとともに、様々な体験活動の実施及び甲斐ゼミナールとの連携協定に基づく学習指導を実施したことで、児童生徒の学習不安や遅れを解消し、学校復帰や社会的自立への意欲喚起につながることができた。

オ【歳出】

1 報酬 10,621 千円 2 職員手当等 3,602 千円 3 共済費 2,076 千円
4 報償費 15 千円 5 旅費 186 千円 6 需用費 316 千円
7 役務費 118 千円 8 委託料 3 千円 9 使用料及び賃借料 237 千円
10 負担金、補助及び交付金 870 千円

カ【課題】

特別支援教育の相談件数が前年度より増え、子供や保護者が抱える困難な課題も多くなっていることから、よりきめ細かな対応が必要となり、今後相談員の増員が必要となってくる。

ステラの認知度が高まりつつある中で、不登校児童生徒をステラにつなげる方法や継続して通うことができる体制作りを検討する必要がある。

(3) 小中学校 ICT 環境維持整備事業(小中学校 ICT 環境維持事業、校務支援システム運用事業、オンライン学習環境整備事業、ICT 支援事業、小中学校 ICT 環境更新事業及びリーディング DX スクール事業)

ア【予算、決算額等】

事業予算額 194,641 千円 支出済額 171,576 千円(執行率)88.15%
財源内訳 国庫補助金 1,998 千円 教育費雑入 273 千円 一般 169,305 千円

イ【事業目的】

ICT を活用した授業の充実を図るため、市内小中学校 19 校を対象として、大型提示装置やタブレットパソコン、ネットワーク環境等の維持管理を行う。

ウ【実施内容】

教師用タブレットやシンクライアント端末等の修理、小中学校セキュリティ保守業務委託、Web アクセス制御ソフトウェア、サーバー・ストレージ及びネットワーク機器保守ライセンス更新等を行う。

エ【評価】

児童生徒用タブレット端末及びネットワーク機器等の維持管理を行い、児童生徒の理解力や個性に応じて最適化させた学習を滞りなく提供することができた。

オ【歳入】

国庫補助金 1,998 千円(公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金)

教育費雑入 273 千円(リーディング DX スクール事業委託金)

カ【歳出】

1 報酬 7,345 千円 2 給料 3,121 千円 3 職員手当 5,098 千円

4 共済費 2,337 千円 5 旅費 449 千円 6 需用費 4,352 千円

7 役務費 735 千円 8 委託料 83,325 千円 9 使用料及び賃借料 53,435 千円

10 備品購入費 2,267 千円 11 負担金、補助及び交付金 9,107 千円

キ【課題】

大型提示装置、教師用タブレットパソコン、デジタル教科書を使用した授業が定着しているが、今後デジタル教材や一人一台タブレットパソコンを効果的に活用するために、教師の ICT 活用能力の向上が必要である。

また、機器の耐用年数が経過したときは入替えが必要となり、多額の経費が必要となる。

情報専門知識を有する ICT 支援員や職員の確保及び一人一台端末の修繕が増加している。

ICT 機器を使っていない教職員が一定数いることから、どのように指導していくか考えていく必要がある。

(4) 外国語指導助手設置事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 56,225 千円 支出済額 45,549 千円(執行率)81%

イ【事業目的】

英語教育の充実と外国との相互理解を増進するとともに、国際化を促進する。

ウ【実施内容】

JET プログラムによる招致外国青年 3 人、民間会社から 10 人外国語指導助手(ALT)を派遣し、合計 13 人の ALT を配置した。小学校 3、4 年生は外国語活動、小学校 5、6 年生及び中学校は英語科の指導助手として授業を支援する。

エ【評価】

ALT による授業支援を行うとことで、英語教育の充実を図ることができた。

また、ALT の日常生活をサポートすることで、新しい環境に早くなじむことができた。

オ【歳出】

1 報酬 4,020 千円 2 共済費 419 千円 3 旅費 12 千円 4 委託料 41,098 千円

(5) 英語教育推進事業(重点事業)

ア【予算、決算額等】

事業予算額 4,074 千円 支出済額 3,848 千円(執行率)94.5%

まちづくり基金繰入金 3,844 千円

イ【事業目的】

国際社会で活躍でき、市の未来を拓く人材育成することを目的に、児童生徒の更なる英語力の向上を図る。

ウ【実施内容】

教育委員会と市内小中学校教職員から選出されたワーキンググループで ALT 活用の先進地である茨城県境町及び大洗町への視察研修を行い、事業が円滑に開始できるよう英語教育プログラムを作成した。英語教育推進事業に係る ALT 受入支援及び管理業務について㈱アチーブゴールと業務委託契約を締結し、本市とフィリピン共和国ベイ町との間で「自治体間交流に関する覚書」を、ベイ町と㈱アチーブゴールの間に「パートナーシップ支援のための幹旋期間契約」を締結した。

エ【評価】

外国語指導助手 22 人を令和 8 年 4 月 1 日から会計年度任用職員として、市内小中学校に配置し、英語力向上に向けて取り組む準備が整った。

オ【歳出】

1 旅費 57 千円 2 委託料 3,592 千円 3 使用料及び賃借料 1 千円
4 負担金、補助及び交付金 198 千円

カ【課題】

英検 3 級の取得率の向上に向けた具体的な取組や学校との連携、
また、英検に関心を持ってもらう環境作りを整えていく必要がある。

(6) 小学校学校教育事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 235,683 千円 支出済額 219,799 千円(執行率)93.3%
財源内訳 一般 219,799 千円

イ【事業目的】

きめ細やかな指導による学力の定着と、支援が必要な児童をサポートするため、学力の保と学校生活を支える環境作りを行う。

ウ【実施内容】

市費負担の講師、学校サポーター、司書及び用務員を配置し、小学校全般に係る教育活動の充実を図る。

学校現場での多様化した課題解決のため、多種の専門性を有するスタッフを配置した。

また、複数の教師が協力して授業を行なうティームティーチング指導を行った。

修学旅行に参加する児童の保護者に対して補助金を交付した。

エ【評価】

教育活動全体の円滑な運営に加えて、ティームティーチング指導や支援が必要な子供達へのきめ細かな対応等、教育活動の充実を図ることができた。

修学旅行に対して補助金を交付することで、保護者の負担軽減を図り、教育機会の確保につながった。

オ【歳出】

1 報酬 50,038 千円 2 給料 78,211 千円 3 職員手当等 56,399 千円
4 共済費 28,680 千円 5 旅費 1,172 千円 6 報償費 665 千円
7 需用費 97 千円 8 委託料 298 千円 9 負担金、補助及び交付金 4,239 千円

カ【課題】

教育課題が複雑化・多様化し、教職等への志願者が減少傾向にある中、豊かな知識や識見はもとより、幅広い視野を持ち、個性豊かな人材を確保することが課題である。

(7) 小学校要保護及び準要保護児童援助事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 9,879 千円 支出済額 8,027 千円(執行率)81.3%

財源内訳 国庫補助金 34 千円 一般 7,993 千円

イ【事業目的】

経済的な理由により就学困難と認められる(認定基準を満たす)児童の保護者に対し支援を行う。

ウ【実施内容】

新入学学用品費(小1年)、学用品費、修学旅行費、校外活動費等を基準額により支給する。

エ【評価】

経済的理由により、就学困難となる児童の教育機会の格差解消を図り、義務教育の円滑な実施を図ることができた。

認定者数 328 人 支給額 6,657 千円

新入学学用品(入学前支給)認定者数 24 人 支給額 1,369 千円

オ【歳入】

国庫補助金 34 千円(要保護児童援助費補助金)

カ【歳出】

扶助費 8,027 千円

キ【課題】

経済的理由により子供を学校へ通わせることが困難な保護者は多く、支給する上で各学校を経て申請手続きを行っている。最終的に基準を満たしているかどうかの確認作業は担当が手作業で行うこととなり、担当者の事務量は膨大な状況にある。ICTを活用した事務の効率化を図る必要がある。

(8) 中学校教育事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 67,851 千円 支出済額 63,558 千円(執行率)93.7%

財源内訳 一般 63,558 千円

イ【事業目的】

きめ細やかな指導による学力の定着と、支援が必要な生徒をサポートするため、学力の保障と学校生活を支える環境作りを行う。

ウ【実施内容】

市費負担の講師、司書、用務員を配置し、中学校全般に係る教育活動の充実を図る。

学校現場での多様化・複雑化した課題解決のため、多様な職種の専門性を有するスタッフを配置した。

また、複数の教師が協力して授業を行なうティームティーチング指導を行った。

修学旅行に参加する生徒の保護者に対して補助金を交付した。

エ【評価】

教育活動全体の円滑な運営に加えて、ティームティーチング指導や支援が必要な子供達へのきめ細かな対応等、教育活動の充実を図ることができた。

修学旅行に対して補助金を交付することで、保護者の負担軽減を図り、教育機会の確保につながった。

オ【歳出】

1 報酬 7,859 千円 2 給料 26,742 千円 3 職員手当等 15,443 千円

4 共済費 7,687 千円 5 報償費 200 千円 6 旅費 201 千円 7 需用費 285 千円

8 負担金、補助金及び交付金 5,141 千円

カ【課題】

教育課題が複雑化・多様化し、教職への志願者が減少傾向にある中、豊かな知識や識見はもとより、幅広い視野を持ち個性豊かな人材を確保することが課題である。

(9) 中学校要保護及び準要保護生徒援助事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 12,762 千円 支出済額 10,932 千円(執行率)85.7%

財源内訳 国庫補助金 30 千円 一般 10,902 千円

イ【事業目的】

経済的な理由により就学困難と認められる(認定基準を満たす)生徒の保護者に対し支援を行う。

ウ【実施内容】

新入学学用品費(中 1 年)、学用品費、修学旅行費、校外活動費等を基準額により支給する。

エ【評価】

経済的理由により、就学困難となる生徒の教育機会の格差解消を図り、義務教育の円滑な実施を図ることができた。

認定者数 170 人 支給額 6,963 千円

新入学学用品(入学前支給)認定者数 63 人 支給額 3,969 千円

オ【歳入】

国庫補助金 30 千円(要保護児童援助費補助金)

カ【歳出】

扶助費 10,932 千円

キ【課題】

経済的理由により子供を学校へ通わせることが困難な保護者は多く、支給する上で各学校を経て申請手続きを行っている。最終的に基準を満たしているかどうかの確認作業は担当が手作業で行うこととなり、担当者の事務量は膨大な状況にある。ICT を活用した事務の効率化を図る必要がある。

(10) 学校プール民間活用事業

ア【予算、決算額等】

事業予算額 9,954 千円 支出済額 9,939 千円(執行率)99.85%

イ【事業目的】

民間プールを活用した水泳事業を取り入れることで、老朽化が進む学校プール施設の維持管理、改修費等の縮減を図るとともに、児童生徒の泳力向上を図る。

ウ【実施内容】

今年度の事業として「ブルーアース石和店」と「ブルーアース山梨店」を活用し、プール授業を実施していくことができるか検証する。

エ【評価】

民間プールの活用及び専門スタッフによる指導委託により、学校プールの維持管理・改修に伴う財政負担を縮減するとともに、天候に左右されない安定した環境下で、専門性の高い指導による児童の泳力向上を図ることができた。また、教職員がプールを管理する必要がないため、教職員の業務負担軽減を図れた。

石和南小学校、石和東小学校及び石和北小学校の3校にあってはブルーアース石和店、令和7年度から新たに一宮西小学校、一宮南小学校及び一宮北小学校の3校にあってはブルーアース山梨店において、民間プールでの授業を実施することができた。

【ブルーアース石和店(笛吹市石和町四日市場 1825)】

- ・石和南小学校 193 人 各学年 5 回 計 30 回開催
- ・石和東小学校 157 人 各学年 5 回 計 30 回開催
- ・石和北小学校 144 人 各学年 5 回 計 30 回開催

【ブルーアース山梨店(山梨市鴨居寺 561)】

- ・一宮西小学校 255 人 クラスごと 計 30 回開催
- ・一宮南小学校 84 人 各学年 5 回 計 30 回開催
- ・一宮北小学校 82 人 各学年 5 回 計 30 回開催

オ【課題】

民間プール活用が2か所で行えることが確認できた。今後、学校運営の軽減化を図るため、他の学校への導入を進めていくが、民間プールまでの往復の移動距離など受入可能な事業者が限られることや、授業の時間割、プール授業の時期(年間を通して行えるかどうか)等、検討する課題が多い。

3 総括

予測困難な時代において、子供達が社会的変化を乗り越えながら豊かな人生を切りひらいていけるよう、新学習指導要領の確実な実施と「笛吹市学校教育ビジョン」の具現化を図り、知・徳・体を一体的に育んでいます。

学務担当は、教育委員会と学校とが目指す子供像と教育施策の目的を共有し、子供や教職員が力を発揮できるように教育環境の人的・物的整備に努めています。

第3節 生涯学習課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数 (人)
課 長	生涯学習課所管事務の統括	1
生涯学習担当	社会教育総務、社会教育委員の会議及び公民館運営審議会、文化振興、小・中学生俳句会、文化団体補助、市民講座、社会教育施設管理運営（施設管理を行う会計年度任用職員 2 人）、指定管理業務委託、青少年育成、二十歳の誓い式典、青少年体験活動、放課後子ども教室 他	3(2)
生涯学習コーディネーター(会計年度任用職員)	市民講座の企画運営、地区コミュニティ活動の指導助言、市民の生涯学習活動における指導助言 他	(3)
青少年育成コーディネーター(会計年度任用職員)	青少年育成協議会活動等への指導助言、青少年体験活動の推進、家庭教育に対する支援 他	(2)
スポーツ推進担当	保健体育総務、スポーツ振興事業、スポーツ推進審議会、各種団体事務、各種スポーツ大会運営補助、補助金関係、社会体育及び学校開放施設管理運営、指定管理業務委託、中学校部活動地域展開 他	3
社会体育指導員(会計年度任用職員)	各種スポーツ教室・健康づくり教室の企画運営及び講師としての活動、関係課との連絡調整 他	(1)
公益財団法人ふえふき文化・スポーツ振興財団派遣	市の芸術文化・スポーツ振興を図るためのイベント開催 等 教育委員会生涯学習課付職員派遣(正職員 1 人、再任用職員 1 人)	1(1)
	正規 8 人、再任用職員 1 人、会計年度任用職員 8 人	8(9)

2 担当課実施事業 事務事業 63 事業

生涯学習課は、第二次笛吹市総合計画に基づく「未来を担う青少年を育む環境づくり」「人生を彩る生涯学習の推進」「スポーツ活動の推進」「地域文化の普及と活用への取組の推進」を目指して事業を実施しています。生涯学習担当とスポーツ推進担当の2担当からなり、生涯学習担当は、青少年育成事業、市民講座事業など29の事務事業、スポーツ推進担当は、スポーツ振興、スポーツ団体育成のための事業など34の事務事業、合計63の事務事業を実施し、生涯学習、スポーツの推進に取り組んでいます。

主要事業概要(点検・評価対象事業 12 事業)

(1) 文化振興事業

【予算、決算額等】

事業予算額 5,337 千円 支出済額 3,727 千円(執行率)69.8%

財源内訳 その他 1,300 千円(雑入) 一般 2,427 千円

【事業目的】

市民の文化活動への取組を推進するとともに、市民が質の高い芸術などに触れる機会を提供し、市民の芸術、文化に対する意識を高める。

【実施内容】

市文化協会(98 部、会員 1,309 人)の活動を支援しており、各地区の各部において自主的な活動が行われた。各町で文化祭を実施し、日頃の活動の成果を発表した。

【評価】

文化祭をはじめ、市及び各町文化協会の活動を支援することにより、市民の文化活動への取組を促進することができた。

【歳入】

ア 教育費雑入 1,300 千円(コミュニティ助成事業助成金)

【歳出】

ア 需用費 5 千円(消耗品費)

イ 負担金、補助及び交付金 3,722 千円(市文化協会補助金 2,422 千円、コミュニティ助成事業(地域の芸術環境づくり助成事業)助成金 1,300 千円)

【課題】

地域の文化活動を担う文化協会会員の高齢化と新規加入者の減少により、文化協会活動の停滞が懸念される。

(2) 俳句の里づくり推進事業

【予算、決算額等】

事業予算額 3,666 千円 支出済額 3,481 千円(執行率)95.0%

財源内訳 一般 3,481 千円

【事業目的】

飯田蛇笏・龍太先生を生んだ俳句の里として、小中学生への俳句の普及を通して芸術文化の振興を図る。

【実施内容】

全国の小学生、中学生を対象に第 29 回「俳句の里」山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会を開催。また、市内の小学校において、俳句出前授業を実施。

ア 小学生・中学生俳句会は、全国 45 都道府県から 455 校計 33,444 句の応募があった。

イ 市内小学校への俳句出前授業 27 回

ウ 俳句会入選作品 2,089 句掲載の作品集を 3,300 冊作成し配布。

【評価】

各市区町村教育委員会や過去の応募校へ俳句会の募集案内を送付するとともに、表彰

式の折には、飯田蛇笏・龍太先生ゆかりの山廬の見学を行った。俳句会は応募数が3万句を超える規模の大きな俳句会となっており、「俳句の里笛吹市」のPRにつながっている。

【歳出】

- ア 報償費 789 千円(出前授業講師謝礼・選者謝礼・受賞者記念品)
- イ 需用費 402 千円(消耗品費・食糧費・印刷製本費)
- ウ 役務費 211 千円(郵送料・筆耕料)
- エ 委託費 1,783 千円(作品集作成)
- オ 使用料及び賃借料 296 千円(県外受賞者宿泊施設使用料)

【課題】

学校応募の際の取りまとめにかかる教員の負担軽減のため、募集時には学校応募だけでなく個人応募も選択できるようにしなければならず、投句離れにつながらないか懸念がある。

また、俳句関係者が高齢化しており、俳句出前授業の講師や俳句会の選者の確保が難しい状況になっている。

(3) 市民講座事業

【予算、決算額等】

事業予算額 16,041 千円 支出済額 13,705 千円(執行率)85.4%

財源内訳 その他(雑入) 2,269 千円 一般 11,436 千円

【事業目的】

市民の生涯学習を推進するため、多様な講座メニューによる市民講座を開講し、地域住民の学習活動を支援する。

【実施内容】

市民が自主的に学習するためのきっかけづくりや市民への学習機会の提供を目的として、前期、後期に分けて行う「市民講座」や1年間を通して学びを深める「スコレー大学」等、様々な講座を開設している。また、行政区が地区の公民館等で行うスコニティ講座の開催を支援している。

各種講座の開催状況

- ア スコレー大学2講座 受講者数 75 人
- イ 市民講座 前期 41 講座 受講者数 750 人、後期 52 講座 受講者数 825 人
- ウ スコニティ講座(地区公民館主催)4地区 参加者数 114 人

【評価】

スコレー大学や市民講座、スコニティ講座を設定し、多様な学習機会を提供することで市民の生涯学習の推進を図っている。

【歳入】

- ア 教育費雑入 2,269 千円(講座受講者が納入した教材費)

【歳出】

- ア 報酬 6,422 千円(コーディネーター3人分)

- イ 職員手当 2,162 千円(コーディネーター3 人分)
- ウ 共済費 1,266 千円(コーディネーター3 人分)
- エ 報償費 1,442 千円(講師謝礼)
- オ 旅費 75 千円(コーディネーター3 人分通勤手当)
- カ 需用費 69 千円(消耗品費)
- キ 負担金、補助及び交付金 2,269 千円(講師への教材費負担金)

【課題】

受講希望者が募集定員を上回り抽選となる講座がある一方、受講希望者が少ない講座は開催中止となった。市民ニーズにあった講座の開催が求められる。また、参加者は高齢者が多く、幅広い世代に向けた講座機会の提供が必要となる。

(4) 青少年育成事業

【予算、決算額等】

事業予算額 9,743 千円 支出済額 8,422 千円(執行率)86.4%
 財源内訳 一般 8,422 千円

【事業目的】

市及び各地区青少年育成推進協議会など関係機関との連携により、青少年の健全育成を図る。

【実施内容】

青少年育成コーディネーターが中心となり体験活動の企画・運営を行うとともに、青少年育成推進協議会と連携し、青少年の健全育成、非行の防止を目的とした講演会や啓発活動等を行った。

【評価】

市青少年育成推進協議会主催で行う「フッキー体験塾」を3 回開催し、保護者含む延べ236 人が参加した。各地区青少年育成推進協議会が行う子ども講座等に1,174 人が参加した。

また、青少年の「全国非行被害防止強調月間」等に併せて実施する啓発活動や、青少年育成に関わる講演会「子どもと女性を犯罪から守る」にも、多くの保護者や関係者が参加し、子どもたちの健全育成への取組の推進が図られた。

【歳出】

- ア 報酬 4,124 千円(コーディネーター2 人分)
- イ 職員手当 1,318 千円(コーディネーター2 人分)
- ウ 共済費 815 千円(コーディネーター2 人分)
- エ 報償費 1,377 千円(講師謝礼)
- オ 旅費 74 千円(コーディネーター2 人分通勤手当)
- カ 需用費 602 千円(消耗品費、食糧費、印刷製本費)
- キ 役務費 22 千円(手数料)
- ク 使用料及び賃借料 17 千円(施設使用料)
- ケ 負担金、補助及び交付金 73 千円

(県青少年育成カウンセラー会負担金、笛吹地区学校警察補導連絡協議会負担金)

【課題】

青少年を取巻く環境は、様々な社会的要因を背景に多様化、複雑化しているとともに、少子化により地域の育成会や子どもクラブ活動は縮小している。

(5) 放課後子ども教室事業

【予算、決算額等】

事業予算額 12,214 千円 支出済額 9,749 千円(執行率)79.8%

財源内訳 県補助金 4,372 千円 一般 5,377 千円

【事業目的】

放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援する。

【実施内容】

放課後等に子どもが安心して活動できる場を確保し、学習指導や体験活動を行うことで、地域における教育活動を推進する。また、地域住民との交流や異学年との活動を通じて、健康で心豊かに育まれる環境づくりを推進する。

富士見小、石和西小を中心に、市内 13 小学校において、放課後子ども教室を開設するとともに、サマースクールや土曜学びの広場を実施した。

ア 放課後子ども教室開催回数、延べ利用者数(芦川小を除く)。

富士見小学校	4,687 人	石和西小学校	6,636 人	石和南小学校	323 人
石和東小学校	485 人	石和北小学校	172 人	御坂西小学校	496 人
御坂東小学校	254 人	一宮西小学校	124 人	一宮南小学校	522 人
一宮北小学校	168 人	八代小学校	405 人	境川小学校	337 人
春日居小学校	337 人	合計	14,946 人		

イ サマースクール

御坂東小学校 74 人、一宮北小学校 31 人、春日居小学校 192 人
合計 297 人

ウ 土曜学びの広場(御坂生涯学習センター、スコレーセンターなど月ごと巡回して実施)小学生 286 人、中学生 269 人 合計 555 人

※人数は、延べ利用人数。

【評価】

学習支援や体験活動を通じて、児童の学習習慣の定着や知識の向上が図られるとともに、地域住民との世代間交流や異学年集団での活動経験により、健康で心豊かな健全育成が図られた。

【歳入】

ア 県費 4,372 千円(放課後子供教室推進事業補助金)

【歳出】

ア 委託料 9,749 千円(放課後子ども教室事業委託)

【課題】

放課後子ども教室推進事業補助金が縮小や廃止となる場合には、実施回数の縮小など事業内容の見直しが必要となる。

(6) 八代総合会館改修事業

【予算、決算額等】

事業予算額 379,867 千円 支出済額 143,360 千円(執行率)37.7%

財源内訳 地方債 106,800 千円 その他 36,560 千円

【事業目的】

老朽化が著しい八代総合会館について 安全安心な施設環境を確保するため、音響、空調、照明などの設備の更新や吊り天井の改修などを行う。

【実施内容】

建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事に着手した。

・建築主体工事

特定天井及び外壁改修、防水改修、昇降機改修等の整備

・電気設備工事

受変電設備(キュービクル)、舞台照明設備、照明設備、換気空調電源設備等の整備

・機械設備工事

空調設備工事に伴う空調機器設備、ダクト設備、配管設備、自動制御設備等の整

【評価】

空調設備の能力不足が判明し、工期を見直したことから、年度内完了が困難となり、令和8年度へ繰越した。このことに伴い、更新したEVや空調等の動作確認や検査ができないため、併せて建築工事及び機械設備工事も令和8年度へ繰越した。

【歳入】

ア まちづくり基金繰入金 36,560 千円

イ 一般事業債 106,800 千円

【歳出】

ア 委託料 880 千円(八代総合会館屋外焼却炉撤去業務委託)

イ 工事請負費 142,480 千円(八代総合会館改修工事前払金(建築)53,460 千円・(電気)40,040 千円・(機械)42,920 千円・(外構)4,070 千円、(きつずやつしろ前庭整備)1,990 千円)

【課題】

令和8年度へ繰越となり、さらに変圧器の納期遅延により工期延期が必要となった。施設の利用予約が6か月前から開始となるため、利用に影響がないよう早めの周知を図る必要がある。

(7) 学びの杜みさか改修事業

【予算、決算額等】

事業予算額 224,571 千円 支出済額 126,399 千円(執行率)56.3%

財源内訳 地方債 94,700 千円 その他 31,699 千円

【事業目的】

老朽化が著しい学びの杜について、安全安心な施設環境を確保するため、外壁改修、防水改修、空調設備の更新、既存照明設備の LED 化などの改修を行う。

【実施内容】

建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事に着手した。

・建築主体工事

外壁の張替、屋根の補修、内部の天井の張替等

・電気設備工事

非常用発電機等の電気設備機器の更新、照明機器の LED 化

・機械設備工事

空調設備、非常用発電機等の設備機器更新

そのほか、アスファルトの舗装や側溝設置等の外構工事を実施した。

【評価】

変圧器の基準切り替えに伴う納期遅延に伴い工期延期となり、電気工事が明許繰越となった。また、外構工事において現況が図面と異なり施工方法の見直しが必要となったこと等により年度内完成が見込めず明許繰越となった。

【歳入】

ア まちづくり基金繰入金 31,699 千円(31,698,754 円)

イ 一般事業債 94,700 千円

【歳出】

ア 工事請負費 126,399 千円(学びの杜みさか改修工事(建築)37,498 千円・(機械)63,087 千円・(電気前払い)16,167 千円・(外構前払い)9,100 千円、機械警備配線等更新工事302 千円、防犯カメラ更新工事245 千円)

【課題】

更新前の変圧器を使用し、令和 8 年度当初から御坂図書館のみ開館したが、電力供給が不足するため、施設の貸出しは工事完了後とした。利用者に誤解がないよう周知する必要がある。

(8) スポーツ振興事業

【予算、決算額等】

事業予算額 2,564 千円 支出済額 2,439 千円(執行率)95.1%

財源内訳 一般 2,439 千円

【事業目的】

スポーツ教室や大会を行い、市民の健康維持や体力向上、親睦や仲間づくりの機会を提供する。

【実施内容】

市民の健康維持、体力向上、親睦や仲間づくりのためのスポーツ教室等を開催した

【評価】

各種教室の開催などにより、市民のスポーツ振興の推進に寄与した。

- ・県スポーツレクレーション祭(参加者：330 人)
- ・市民ウォーク(参加者：18 人)
- ・スポーツフェスティバル(雨天中止)
- ・体力維持・運動能力向上教室(ランクリニック)(参加者：6 校 291 人)
- ・体力維持・運動能力向上教室(タニラダーエクササイズ)(参加者：15 回延 279 人)
- ・スポーツ講演会(栗原恵 参加者：380 人)
- ・アクティブ・チャイルド・プログラム(参加者：39 人)

【歳出】

- ア 報償費 218 千円(県スポレク祭参加者奨励金等)
- イ 需用費 924 千円(消耗品費 884 千円、食糧費 40 千円)
- ウ 委託料 231 千円(ランクリニック 91 千円、タニラダー140 千円)
- エ 負担金 66 千円(県スポレク祭参加負担金)
- オ 補助金 1,000 千円(スポーツ講演会開催補助金)

【課題】

軽スポーツやパラスポーツの普及など、市民の誰もが障害の有無にかかわらず、手軽にスポーツに親しむ機会の拡大に努めていく必要がある。

(9) スポーツ少年団支援事業

【予算、決算額等】

- 事業予算額 2,940 千円 支出済額 2,940 千円(執行率)100.00%
- 財源内訳 一般 2,940 千円

【事業目的】

青少年のスポーツを振興することで、青少年の心身の健全な育成に資するため、スポーツ少年団活動の普及と育成を図る。

【実施内容】

市スポーツ少年団(45 団・団員 1,019 人・指導者 208 人)の本部や支部の事業のほか、単位団体の運営、指導者謝礼、指導者登録、講習会・研修会への参加などに係る費用に対する補助金を交付した。

【評価】

スポーツ少年団の各活動や運営等に係る費用に対し補助金を交付することで、スポーツ少年団の安定的な活動基盤の維持が図られ、スポーツに親しむ機会を確保するとともに、青少年の心身の健全な育成に寄与した。

【歳出】

- ア 負担金補助及び交付金 2,940 千円(社会体育振興費補助金(市スポーツ少年団分))

【課題】

少子化によりスポーツ少年団活動の活力が低下することが懸念される。

(10) スポーツ協会運営支援事業

【予算、決算額等】

事業予算額 8,733 千円 支出済額 8,732 千円(執行率)100.00%

財源内訳 一般 8,732 千円

【事業目的】

地域におけるスポーツの振興を図るため、スポーツ協会に所属する競技団体の運営等を支援する。

【実施内容】

市民がスポーツに参加する機会の創出をするため、笛吹市スポーツ協会(34 競技・会員 3,612 人)が実施する各種活動等に対して補助金を交付した。

【評価】

市スポーツ協会が実施する大会運営や支部活動、各競技団体活動、大会出場等に対する補助金を交付し支援することで、市民のスポーツ振興に寄与した。

【歳出】

ア 負担金 167 千円(山梨県スポーツ協会法令外負担金)

イ 補助金 8,565 千円(社会体育振興費補助金(市スポーツ協会分))

【課題】

会員数が減少傾向にあり、地域のスポーツ活動の活力が低下することが懸念される。

(11) 境川スポーツセンター体育館改修事業

【予算、決算額等】

事業予算額 186,560 千円 支出済額 163,155 千円(執行率)87.5%

財源内訳 地方債 102,800 千円 その他 582 千円 一般 59,773

【事業目的】

境川スポーツセンター体育館について、施設や設備が老朽化していることから、照明機器の LED 化やアリーナの天井等について改修工事を行い、利用者が快適に利用できる環境を整備する。

【実施内容】

次のとおり改修工事を実施した。

・建築主体工事

防水改修工事及び特定天井(吊り天井)改修工事

・電気設備工事

照明 LED 化

・機械設備工事

トイレの洋式化、衛生設備の更新、給排水設備工事

【評価】

特定天井が現行基準に改修したことで、利用者の安全性が向上した。またトイレの洋風化や照明の LED 化によって利便性、快適性の向上が図られた。

【歳入】

- ア 緊急防災・減災事業債 102,800 千円
- イ まちづくり基金繰入金 582 千円

【歳出】

- ア 委託料 2,332 千円
- イ 工事請負費 160,823 千円

【課題】

その他、外壁の老朽化、また地盤全体の沈下がみられるので、様子を伺う必要がある。

(12) 石和清流館改修事業

【予算、決算額等】

事業予算額 36,359 千円 支出済額 19,879 千円(執行率)54.7%
財源内訳 国庫 7,568 千円 地方債 6,800 千円 その他 5,511 千円

【事業目的】

4 競技(柔道、剣道、弓道、相撲)一体型施設としての強みを活かした「全国規模の大会・合宿」の誘致や、温泉街等の地域資源と連携したスポーツツーリズムを推進するため、交流人口の拡大拠点となる施設として改修を行う。

【実施内容】

改修工事に向けた基本設計(債務負担行為 2 年目)及び実施設計業務を実施した。

【評価】

施設改修に必要な基本設計および実施設計を完了し、令和 8 年度の改修工事に向けた準備を整えた。

【歳入】

- ア 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第 2 世代交付金) 7,568 千円
- イ 一般補助施設整備等事業債 6,800 千円
- ウ まちづくり基金繰入金 5,511 千円

【歳出】

- ア 委託料 19,879 千円(基本設計委託業務(債務)精算払 4,743 千円)
(実施設計委託業務 15,136 千円)

【課題】

国の交付金を活用していることから、今後施設を拠点としたソフト事業の充実を図る。

3 総括

社会教育の振興については、第三次笛吹市社会教育計画(令和 5 年度～8 年度)に基づき、生涯学習の推進、青少年の育成、地域文化の普及と活用に係る取組として、29 の事務事業を実施しました。

スポーツの推進については、笛吹市スポーツ推進計画(令和 3 年度～7 年度)に掲げた 3 つの視点(「する」「みる」「ささえる」)により、軽スポーツから競技スポーツまで、市民がスポーツを楽しめる環境づくりやスポーツ人口の拡大を目指して、34 の事務事業を

実施しました。今後も、市民のスポーツ意識が向上し、スポーツにより親しむことができるよう取組を進めます。

また、本市の生涯学習やスポーツの推進の一翼を担う、(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団の事業を支援しました。互いに連携しながら効果的な事業推進に努めるとともに、学校や地域、各種団体等とも協力して事業を実施します。

第4節 文化財課

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数 (人)
課長	文化財課所管事務の統括	1
文化財担当	指定文化財保存管理、埋蔵文化財事務、同調査、文化財情報発信、文化財の保護・活用及び普及、文化財施設維持管理など	2(2)
国分寺跡整備担当	史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡及びその他史跡の保存・管理・整備・活用・普及など	2
春日居郷土館、小川正子記念館	入館者受付、日常管理。 会計年度任用職員は週3日勤務×4人	(4)
八田家書院	入館者受付、日常管理。会計年度任用職員は週2日勤務×1人	(1)
青楓美術館	入館者受付、日常管理。会計年度任用職員は週3日勤務×4人	(4)
施設管理職員	文化施設の入館者受付、日常管理。(それぞれの施設の管理人が就業できない日のみ、週3日以内)	(1)
発掘調査作業員	発掘調査現場作業員(作業がある期間のみ、週3日以内)	(2)
釈迦堂遺跡博物館	派遣	0
	正規5人、再任用1人、会計年度任用職員13人 ()は再任用・会計年度任用職員	5(13)

2 担当課実施事業 事務事業 19事業

文化財課は、「地域の文化を育み伝える環境づくり」を目指し、「市内の指定文化財の保護・保存・維持を図る」「市内の文化財を活用し、市民へ市の歴史・文化遺産の理解を促進する」「史跡の保存整備を進め、その活用を進める」「埋蔵文化財(遺跡)の確認調査を行うと共に、発掘調査資料の整理を行う」「市内の博物館や美術館を活用し、笛吹市の文化財や文化遺産を公開する」等を推進していくため、文化財担当・国分寺跡整備担当の2担当を置いています。文化財担当は、文化財保護、博物館・美術館の管理運営など17事務事業を実施、国分寺跡整備担当は、国指定史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡の保存整備など2事務事業を実施、合計19事務事業を実施しました。

主要事業概要(点検・評価対象事業 9 事業)

(1) 文化財保護総務事業

【予算、決算額等】

事業予算額 23,184 千円 支出済額 22,902 千円(執行率)98.7%

財源内訳 県費 1,756 円 一般 21,139 千円 その他 7 千円

【事業目的】

文化財保護に係る総務事務、釈迦堂遺跡博物館の管理・運営の支援。

【実施内容】

文化財保護に係るパートタイム会計年度任用職員の給料・手当、共済費等の支出。

釈迦堂遺跡博物館組合に対して管理・運営費、組合事務局長人件費の負担金の支出を行った。

【評価】

釈迦堂遺跡博物館の運営に寄与した。

【歳出】

ア 報酬 2,388 千円(会計年度任用職員報酬)

イ 職員手当 710 千円(会計年度任用職員手当)

ウ 共済費 399 千円(会計年度任用職員共済費)

カ 旅費 62 千円(会計年度任用職員旅費)

キ 需用費 20 千円(消耗品費)

ク 負担金、補助金及び交付金 19,323 千円

(ア) 釈迦堂遺跡博物館組合管理・運営負担金 10,000 千円

(イ) 釈迦堂遺跡博物館組合事務局長人件費負担金 9,323 千円

【課題】

負担金及び報酬(会計年度職員の)のみであり、今後も必要な経費であるので予算確保できるようにして行く。

(2) 文化財保護事業

【予算、決算額等】

事業予算額 670 千円 支出済額 602 千円(執行率)89.8%

一般 602 千円

【事業目的】

指定文化財の維持管理及び修理に関する支援を行い、地域の文化資産を守り伝える。

【実施内容】

指定文化財の管理者に対する維持管理の支援を行った。

【評価】

指定文化財の適切な保管を支援し、地域の文化資産を守ることができた。

【歳出】

ア 報償費 583 千円(指定文化財維持管理謝礼)

イ 需用費 19 千円(消耗品費)

【課題】

個人所有の指定文化財を今後においてしっかり維持管理してもらうため、所有者と文化財保存状態の情報共有をしていく必要がある。

(3) 文化財活用事業

【予算、決算額等】

事業予算額 1,666 千円 支出済額 1,352 千円(執行率)81.1%

まちづくり基金 1,352 千円

【事業目的】

市民に地域の文化財や自然に触れる機会を提供し、郷土愛をはぐくむ。

【実施内容】

老朽化した文化財説明板のうち、石和地区で12基、御坂地区で7基の改修工事を行った。

【評価】

文化財説明板の改修により、市民が気軽に文化財を学べる環境整備に寄与した

【歳出】

ア 工事請負費 1,352 千円(文化財説明板更新工事(石和、御坂地区))他1件

【課題】

計画的に看板を更新しているが、今後も更新や建て替えがあると思われるが、費用もかかることから保全し延命させる。

(4) 埋蔵文化財発掘調査事業

【予算、決算額等】

事業予算額 708 千円 支出済額 410 千円(執行率)57.9%

財源内訳 国庫補助金 173 千円 県費 14 千円 一般 223 千円

【事業目的】

埋蔵文化財包蔵地内で実施される各種工事計画について、工事内容に応じて試掘調査、工事立ち合い等を実施し、埋蔵文化財の適切な保存を図る。

【実施内容】

国・県の補助金を受けて各種開発の試掘調査を実施した。

【評価】

開発などに伴う試掘調査を4件実施。遺構・遺物は確認されず記録保存を目的とした本調査の実施には至らなかったが、文化財保護の観点から必要である。

【歳出】

ア 報酬 28 千円(会計年度任用職員報酬) イ 共済費 1 千円(労災保険料)

ウ 旅費 1 千円(会計年度任用職員通勤手当) エ 需用費 88 千円(消耗品費)

オ 役務費 5 千円(仮設トイレ汲み取り手数料) カ 使用料及び賃借料 287 千円

【課題】

試掘調査は不定期的な勤務であるため会計年度任用職員で発掘作業員に応募する者が少なく、作業員の確保に苦慮している。人材派遣を利用することも検討しているが、緊急の場合に対応できないなどの課題がある。

(5) 笛吹市博物館管理運営事業

【予算、決算額等】

事業予算額 458 千円 支出済額 368 千円(執行率)80.3%

一般 346 千円 その他 22 千円

【事業目的】

市の歴史・民俗資料を収集保管し、郷土学習の機会を提供する。

【実施内容】

春日居郷土館では通常展示「笛吹市の歴史」のほか、企画展として「黒崎 彰写真展」「わが町の八月十五日展」「辻 邦生展」「癒しのあかり展」を開催した。

【評価】

通常展と企画展の開催により、地域の歴史・文化を学ぶ機会の提供を行うことができた。

【歳出】

ア 需用費 147 千円(消耗品)

イ 需用費 5 千円(光熱水費)

ウ 需用費 216 千円(修繕費)

【課題】

入館者を増やす目的で企画展を7年度より実施したが、なかなか入館者を増やせていないが、毎年続けることで定着できるよう企画内容を課内で共有していく。

(6) 八田御朱印公園管理事業

【予算、決算額等】

事業予算額 7,860 千円 支出済額 7,751 千円(執行率)98.6%

一般 7,641 千円 その他 110 千円

【事業目的】

八田御朱印公園及び八田家書院を活用し、市民に憩いの場と文化財建造物に触れる機会を提供する。

【実施内容】

八田家書院は土曜・日曜、祝日に公開し、5月と10月に子どもお茶会、10月・12月に石和文化協会作品展、3月に八田家ゆかりの雛飾りの展示を行った。

【評価】

八田家書院を活用した歴史・文化的環境を提供することができた。

【歳出】

ア 報酬 751 千円(会計年度任用職員報酬)

イ 旅費 9 千円(会計年度任用職員旅費)

- ウ 需用費 425 千円(光熱水費)
- エ 役務費 52 千円(通信運搬費)
- オ 委託料 4,620 千円(指定管理委託料)
- カ 委託料 1,894 千円(機械警備業務委託他)

【課題】

石和温泉街、石和温泉駅に近い立地ではあるが知名度が低いため、行楽シーズンでも来館者数が伸びていない。石和町文化協会協力のもと各種事業を R7 年度から展開しているが、大きな変化が見られないため、従来の広報活動以外の多角的アプローチを検討する必要がある。

(7) 青楓美術館維持管理事業

【予算、決算額等】

事業予算額 5,119 千円 支出済額 4,641 千円(執行率)90.6%
 一般 4,395 千円 その他 246 千円

【事業目的】

津田青楓の作品を展示し、市民が芸術に親しむ機会を創出する。また、観光資源として市外、県外からの来館者に作品を観覧してもらう。

【実施内容】

上半期は「新所蔵作品展」、下半期は「パリの風に吹かれて」と題した展覧会を行った。そのほか、ぶどう畑のアートギャラリー展では市民を中心とした作品を 1 か月ごと展示、「絵手紙展」、10 月 23 日には開館記念日コンサートを開催した。

【評価】

青楓作品に加え市民作品を展示することによって、市民が芸術に親しむ機会を提供することができた。

【歳出】

- ア 報酬 2,871 千円(会計年度任用職員報酬)
- イ 旅費 42 千円(会計年度任用職員旅費)
- ウ 需用費 838 千円(光熱水費)
- エ 役務費 47 千円(通信運搬費)
- オ 委託料 762 千円(機械警備業務委託費他)
- カ 使用料及び賃借料 281 千円(駐車場用地借地料)

【課題】

開館 50 年を経過し建物の老朽化、展示スペース狭小、多様な来館者に対応するためのユニバーサルデザインとなっていないなど、課題が山積している。R8 年度から美術館の移転に向け動き出した。

(8) 史跡甲斐国分寺跡整備事業

【予算、決算額等】

事業予算額 137,046 千円 支出済額 88,354 千円(執行率)64.4%

財源内訳 国庫補助金 67,148 千円 県費 1,676 千円 その他 3,335 千円
一般 16,195 千円

【事業目的】

国指定史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡の保存整備を行う。

【実施内容】

史跡の公有地化(史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡の公有地化)を実施し、甲斐国分寺跡整備基本計画を策定した。甲斐国分寺跡の史跡整備に向けた金堂跡・講堂跡間の石敷き遺構、塔跡南階段の内容確認調査を実施した。

史跡の環境維持管理等を実施した。

【評価】

史跡甲斐国分寺跡の公有地化が予定どおり完了した。令和 6 年度事業から繰り越しとなった甲斐国分尼寺跡の公有地化については年度内に完了した。

ア 史跡甲斐国分寺(公有地化) 521.22 m²(宅地)

イ 史跡甲斐国分尼寺 324.92 m²(宅地)※繰り越し分

ウ 史跡甲斐国分尼寺 1919.92 m²(雑種地)

令和 7 年度に史跡甲斐国分寺跡整備基本計画を策定。本年度より 2 カ年かけ基本設計、その後実施設計を行い、順次整備していく。

【歳出】

ア 報酬 285 千円(会計年度任用職員) イ 共済費 1 千円 ウ 報償費 439 千円

エ 旅費 316 千円(費用弁償、普通旅費、会計年度任用職員通勤手当)

オ 需用費 166 千円(消耗品費)

カ 役務費 5 千円(手数料、保険料)

キ 委託料 13,915 千円 ク 使用料及び賃借料 55 千円 ケ 原材料費 35 千円

コ 公有財産購入費 31,246 千円 サ 負担金、補助及び交付金 60 千円

シ 補償、補填及び賠償金 41,831 千円

【課題】

史跡甲斐国分寺・甲斐国分尼寺の公有地化を進めるとともに、史跡の保存・整備のために整備基本計画を策定し、その後基本設計を策定し実施設計に基づいて史跡整備を行う必要があり、長期的な視野に立った計画が必要である。また、史跡整備にあたり不明確な部分を解明するため、発掘調査(内容確認調査)を行いデータ収集する必要がある。

(9) 文化財保存整備事業

【予算、決算額等】

事業予算額 7,717 千円 支出済額 6,984 千円(執行率)90.5%

財源内訳 一般 6,984 千円

【事業目的】

国分寺跡、国分尼寺跡、寺本廃寺跡、岡・銚子塚古墳、竜塚古墳など市内の史跡について除草、剪定などの日常管理を行う。また、保存整備を行う。

【実施内容】

史跡の除草管理等環境整備、支障木の除伐管理を実施した。

【評価】

国分寺跡、尼寺跡、寺本廃寺跡、岡・銚子塚古墳、竜塚古墳などの環境を維持管理するための除草作業・支障木伐採を実施した。

【歳出】

ア 報償費 130 千円 イ 需用費 149 千円(消耗品費等) ウ 需用費 71 千円(燃料費 3、修繕費 68) エ 委託料 6,634 千円(市内史跡等除草委託)

【課題】

近年の著しい雑草繁茂の状況に対応するため、国分寺跡、国分尼寺跡ほか市内史跡等の除草作業が効率よく行えるよう、シルバー人材センターとの連携をより一層進めていく必要がある。

第 5 節 図書館

1 組織、分掌事務及び職員

係・担当	分掌事務	職員数 (人)
館長	図書館所管事務の統括	1
石和図書館	貸出業務、レファレンス、相互貸借、図書選書及び受入他	3(11)
御坂図書館	貸出業務、レファレンス、相互貸借、図書選書及び受入他	(8)
一宮図書館	貸出業務、レファレンス、相互貸借、図書選書及び受入他	(8)
八代図書館	貸出業務、レファレンス、相互貸借、図書選書及び受入他	1
春日居ふるさと図書館	貸出業務、レファレンス、相互貸借、図書選書及び受入他	(5)
	正規 5 人、会計年度任用職員 週 5 日 18 人、週 2 日 4 人、週 1 日 10 人 ()は会計年度任用職員	5(32)

2 担当課実施事業 事務事業 9 事業

図書館は、いつでも、どこでも、誰でも学べる環境を目指している。市内 5 ヶ所の図書館を運営し相互連携を図る中で、蔵書の充実や市外図書館との相互貸借による利用者へのサービス向上に努め、9 事務事業を実施した。

主要事業概要(点検・評価対象事業 1 事業)

(1) 図書館運営事業

【予算、決算額等】

事業予算額 32,502 千円 支出済額 31,809 千円(執行率)97.9%

財源内訳 その他 71 千円(使用料、基金繰入金) 一般 31,738 千円

【事業目的】

市民が利用しやすい環境を整備し、誰でも学べる生涯学習施設として市内図書館を管理運営する。

【実施内容】

市内図書館 5 館が連携して業務の効率化を図り、おはなし会等による子育て支援や課題解決の手伝い、図書資料の貸出などにより読書の推進を行う。

【評価】

地域の情報拠点として、市民に役立つ図書館サービスを行った。イベントは基本的に、申込み不要とし、定員のあるものは人数を増やして開催し、子どもから大人まで幅広く図書に触れる機会を増やすことができるように努めた。蔵書点検や館内整備により利用しやすいスペースを確保して利用促進に努めた。

図書館バリアフリー化の一環として「りんごの棚」を設置し、大活字本の充実を図り、好評を得ている。

図書資料数 491,070 点 図書資料貸出数 280,246 点

【歳入】

ア 視聴覚ホール使用料 21 千円

イ まちづくり基金繰入金 50 千円

【歳出】

ア 報償費 370 千円

イ 需用費 5,219 千円(消耗品費、食糧費)

ウ 役務費 471 千円(通信運搬費、手数料)

エ 委託料 4,497 千円(システム保守業務委託等)

オ 使用料及び賃借料 10,172 千円(システムリース料、コピー機使用料)

カ 備品購入費 11,080 千円(図書資料、視聴覚資料)

【課題】

令和 7 年度は、御坂図書館及び八代図書館の改修工事に伴う長期休館のため、図書館全体の年間利用者数と貸出数は減少した。しかし、両図書館の利用者は開館中の他図書館を利用しており、石和、一宮、春日居の利用者数と貸出数は例年より増加した。

イベントについては、笛吹市のホームページとの LINE 連携や、やまなしくらしねっとのメールマガジンを活用した周知を行い、1 回あたりの参加者数は増えてきている。LINE やメールマガジンの登録者を増やしつつ、継続的に情報発信をしていく必要がある。

より多くの市民に利用してもらえよう、レファレンス等で必要な資料の傾向を把握し、利用者ニーズに合った資料を充実させていくことが求められる。さらに、利用者の利便性向上のため、相互貸借当で県内図書館と連携していくことが望まれる。

3 総括

図書館は市民の学びの場であり憩いの場でもある。学習・交流の拠点として利用環境の向上に努めるとともに、資料の充実や子育て支援、課題解決の手伝い等を行ってきた。

今後も、誰もが気軽に利用できる図書館づくりに努めていきたい。

令和7年度事務事業一覧表

○は第二次笛吹市総合計画実施計画に掲載。(重点)は重点事業

No.	担当課	事務事業名	R7決算額(千円)	備考
1	教育総務課	教育委員運営事業	1,159	
2	教育総務課	教育協議会活動費補助事業	150	
3	教育総務課	笛吹市立小中学校PTA連合会活動費補助事業	760	
4	教育総務課	職員人件費(教育総務課)	63,964	
5	教育総務課	教育長人件費	13,656	
6	教育総務課	教育総務事業	8,056	
7	教育総務課	公用自動車管理事業	894	
8	教育総務課	施設整備維持管理事務	91,140	
9	教育総務課	体育施設断熱性状況調査事業	12,650	
10	教育総務課	小学校施設設備維持管理事業	34,415	○
11	教育総務課	小学校施設改修事業(繰越明許含む)	35,387	○
12	教育総務課	春日居小学校改修事業	35,640	○
13	教育総務課	中学校施設設備維持管理事業	11,828	○
14	教育総務課	中学校施設改修事業	1,958	○
15	教育総務課	石和中学校改修事業	1,671	○
16	教育総務課	一宮中学校改修事業	2,970	○
17	教育総務課	春日居中学校改修事業	35,002	○
18	教育総務課	御坂中学校校舎等改築事業(繰越明許含む)	1,425,726	○(重点)
19	教育総務課	社会教育施設維持管理事業	12,416	
20	教育総務課	体育施設維持管理事業	9,789	
21	教育総務課	学校給食調理施設維持管理事業	19,261	
22	教育総務課	学校徴収金徴収事務事業	2,063	○
23	教育総務課	職員人件費(学校給食)	34,907	
24	教育総務課	学校給食総務事業	72,315	
25	教育総務課	給食調理業務委託事業	263,596	
26	教育総務課	学校給食費管理事業	336,127	○(重点)
27	教育総務課	学校給食費無償化事業	14,978	
28	教育総務課	石和中学校給食事業	1,813	
29	教育総務課	境川小学校給食事業	2,135	
30	教育総務課	芦川小学校給食事業	748	

No.	担当課	事務事業名	R7決算額(千円)	備考
31	教育総務課	単独調理場維持管理事業	3,677	○
32	教育総務課	共同調理場維持管理事業	63,280	○
33	教育総務課	新学校給食センター建設事業	7,345	○(重点)
1	学校教育課	職員人件費(学校教育課)	107,677	
2	学校教育課	小中学校学校教育事業	85,248	
3	学校教育課	教育相談事業	30,839	○
4	学校教育課	特別支援教育就学支援事業	120	
5	学校教育課	小中学校ＩＣＴ環境維持整備事業	171,578	○
6	学校教育課	英語教育推進事業	49,398	○(重点)
7	学校教育課	スクールバス運営事業	34,489	
8	学校教育課	ことばと発達のサポートルーム設置事業	1,521	
9	学校教育課	学校プール民間活用事業	9,939	○
10	学校教育課	小学校学校教育事業	219,799	○
11	学校教育課	小学校校医等配置事業	10,976	
12	学校教育課	就学時健康診断事業	1,063	
13	学校教育課	小学校要保護及準要保護児童援助事業	8,027	○
14	学校教育課	小学校特別支援教育就学奨励事業	595	
15	学校教育課	小学校維持管理事業	75,993	
16	学校教育課	小学校教育振興事業	62,683	
17	学校教育課	職員人件費(中学校)	9,765	
18	学校教育課	中学校学校教育事業	75,632	○
19	学校教育課	中学校校医等配置事業	4,216	
20	学校教育課	中学校要保護及準要保護生徒援助事業	10,932	○
21	学校教育課	中学校特別支援教育就学奨励事業	843	
22	学校教育課	部活動指導員任用事業	2,983	
23	学校教育課	中学校維持管理事業	42,739	
24	学校教育課	中学校教育振興事業	41,010	

No.	担当課	事務事業名	R7決算額(千円)	備考
1	生涯学習課	職員人件費（生涯学習課）	63,357	
2	生涯学習課	社会教育事業	918	
3	生涯学習課	ふえふき文化・スポーツ振興財団支援事業	15,930	
4	生涯学習課	文化振興事業	3,727	○
5	生涯学習課	俳句の里づくり推進事業	3,481	○
6	生涯学習課	公民館管理事業	42	
7	生涯学習課	市民講座事業	13,705	○
8	生涯学習課	社会教育施設照明・空調設備等維持管理事業	189,420	
9	生涯学習課	青少年育成事業	8,422	○
10	生涯学習課	二十歳の誓い事業	1,580	
11	生涯学習課	放課後子ども教室事業	9,749	○
12	生涯学習課	学校等支援事業	1,393	
13	生涯学習課	ふえふき・さど児童地域間交流事業	7,295	
14	生涯学習課	スコレーセンター・パリオ指定管理運営事業	31,863	
15	生涯学習課	いちのみや桃の里ふれあい文化館指定管理運営事業	38,339	
16	生涯学習課	八代総合会館等指定管理運営事業	14,990	
17	生涯学習課	境川総合会館指定管理運営事業	10,907	
18	生涯学習課	芦川やすらぎの里指定管理運営事業	6,039	
19	生涯学習課	学びの杜みさか管理運営事業	5,228	
20	生涯学習課	御坂生涯学習センター管理運営事業	9,838	
21	生涯学習課	御坂地区陶芸施設管理運営事業	268	
22	生涯学習課	あぐり情報ステーション管理運営事業	11,026	
23	生涯学習課	芦川ふるさと総合センター管理運営事業	1,885	
24	生涯学習課	山廬施設管理運営事業	99	
25	生涯学習課	社会教育施設改修事業	31,702	
26	生涯学習課	八代総合会館改修事業	143,360	○(重点)
27	生涯学習課	学びの杜みさか改修事業	126,399	○
28	生涯学習課	スコレーパリオ改修事業	62,513	
29	生涯学習課	山廬施設整備事業	550	
30	生涯学習課	保健体育総務事業	455	

No.	担当課	事務事業名	R7決算額(千円)	備考
31	生涯学習課	スポーツ傷害見舞金制度事業	598	
32	生涯学習課	ヴァンフォーレ甲府支援事業	34	
33	生涯学習課	スポーツ推進審議会設置事業	102	
34	生涯学習課	スポーツ協会運営支援事業	8,732	○
35	生涯学習課	スポーツ少年団支援事業	2,940	○
36	生涯学習課	スポーツ推進委員設置事業	3,143	
37	生涯学習課	社会体育指導員設置事業	3,748	
38	生涯学習課	桃の里マラソン大会事業	6,957	
39	生涯学習課	全国ゲートボール大会事業	983	
40	生涯学習課	国際・県外大会出場補助事業	1,756	
41	生涯学習課	スポーツ振興事業	2,439	○
42	生涯学習課	スポーツツーリズム事業	1,502	
43	生涯学習課	多目的広場管理運営事業	318	
44	生涯学習課	石和中央テニスコート等指定管理事業	27,725	
45	生涯学習課	花鳥の里スポーツ広場等指定管理事業	23,450	
46	生涯学習課	御坂成田弓道場指定管理事業	140	
47	生涯学習課	いちのみや桃の里スポーツ公園等指定管理事業	24,482	
48	生涯学習課	若彦路ふれあいスポーツ館等指定管理事業	13,798	
49	生涯学習課	境川スポーツセンター指定管理事業	8,921	
50	生涯学習課	境川弓道場指定管理事業	140	
51	生涯学習課	芦川スポーツ広場指定管理事業	883	
52	生涯学習課	春日居スポーツ広場等指定管理事業	7,384	
53	生涯学習課	春日居弓道場指定管理事業	244	
54	生涯学習課	春日居柔剣道場管理運営事業	11	
55	生涯学習課	行政区管理スポーツ広場等維持管理事業	988	
56	生涯学習課	社会体育施設等夜間照明設備維持管理事業	51,641	
57	生涯学習課	八代ふれあい運動広場管理運営事業	668	
58	生涯学習課	学校開放体育施設管理事業	3,799	
59	生涯学習課	石和地区スポーツ振興事業	68	
60	生涯学習課	部活動地域移行推進事業	71	
61	生涯学習課	石和清流館改修事業	19,879	○(重点)
62	生涯学習課	いちのみや桃の里スポーツ公園体育館改修事業	1,041	
63	生涯学習課	境川スポーツセンター改修事業	163,155	○

No.	担当課	事務事業名	R7決算額(千円)	備考
1	文化財課	春日居郷土館運営事業	832	
2	文化財課	八田御朱印公園運営事業	199	
3	文化財課	青楓美術館運営事業	220	
4	文化財課	笛吹市博物館運営協議会運営事業	77	
5	文化財課	職員人件費(文化財課)	40,669	
6	文化財課	文化財保護総務事務	22,902	○
7	文化財課	文化財保護事業	602	○
8	文化財課	文化財活用事業	1,351	○
9	文化財課	無形民俗文化財保存団体補助事業	168	
10	文化財課	文化財保存等事業費補助事業	115	
11	文化財課	埋蔵文化財発掘調査事業	409	○
12	文化財課	史跡甲斐国分寺跡整備事業(繰越明許含む)	110,602	○
13	文化財課	文化財保存整備事業	6,984	○
14	文化財課	文化財保護審議会事務	108	
15	文化財課	笛吹市博物館管理運営事業	368	○
16	文化財課	八田御朱印公園管理事業	7,751	○
17	文化財課	青楓美術館維持管理事業	4,641	○
18	文化財課	春日居郷土館維持管理事業	4,847	
19	文化財課	八代郷土館維持管理事業	971	
1	図書館	図書館総務事務	75,560	
2	図書館	石和図書館運営事業	6,362	○ ※2～8一括掲載
3	図書館	御坂図書館運営事業	4,197	○ ※2～8一括掲載
4	図書館	一宮図書館運営事業	3,711	○ ※2～8一括掲載
5	図書館	八代図書館運営事業	815	○ ※2～8一括掲載
6	図書館	春日居図書館運営事業	2,028	○ ※2～8一括掲載
7	図書館	図書館運営事業	14,005	○ ※2～8一括掲載
8	図書館	図書館利用促進事業	693	○ ※2～8一括掲載
9	図書館	職員人件費(図書館)	48,209	

議案第15号（9月）

動産の取得について
（ゼロトラスト環境構築用サーバー購入）

学校教育課

議案第 114 号

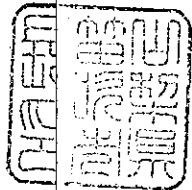
動産の取得について(ゼロトラスト環境構築用サーバー購入)

次のとおり動産の取得をすることについて議決を求める。

- | | |
|----------|---|
| 1 取得する動産 | ゼロトラスト環境構築用サーバー購入 |
| 2 契約の方法 | 一般競争入札による契約 |
| 3 取得金額 | 金 61,482,300 円(税込み) |
| 4 契約の相手方 | 山梨県甲府市湯田 1-13-2
株式会社 YSKe-com
代表取締役 奥山 栄樹 |

提案理由

ゼロトラスト環境構築用サーバー購入について動産の取得をしたいので、笛吹市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分の範囲を定める条例第 3 条の規定により、本案を提出するものである。



物 品 売 買 仮 契 約 書

1. 契約番号 5083000036
2. 件名 ゼロトラスト環境構築用サーバー購入
3. 契約金額 金 61,482,300 円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税 金 5,589,300 円)
4. 品名規格等 別紙のとおり
5. 納入期限 令和 9 年 2 月 19 日
6. 納入場所 笛吹市内
7. 契約保証金 財務規則第 1 5 6 条の規定により免除

この物品売買契約について、買受人と売渡人とは、別添条項により仮契約（以下、「本件仮契約」という。）を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、本件仮契約は笛吹市議会の議決がなされたときに本契約となる。ただし、議会の議決が得られないとき、本件仮契約は無効となる。

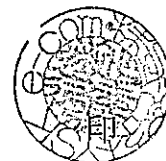
この契約の証として本書 2 通を作成し、買受人及び売渡人が記名押印の上、各自 1 通保有する。

（仮契約日） 令和 8 年 8 月 17 日

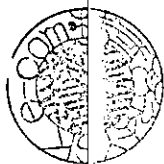
買受人	住所又は所在地	山梨県笛吹市石和町市部777- 笛吹市
	職 ・ 氏 名	笛吹市長 山下 政樹



売渡人	住所又は所在地	山梨県甲府市湯田1-13-2
	商号又は名称	株式会社YSKe-com
	代表者職・氏名	代表取締役 奥山 栄樹



（議 決 日 ） 令和 年 月 日



議案第16号（9月）

動産の取得について
(学校ネットワーク改善用機器類購入)

学校教育課

議案第 115 号

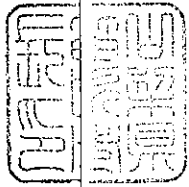
動産の取得について(学校ネットワーク改善用機器類購入)

次のとおり動産の取得をすることについて議決を求める。

- | | |
|----------|--|
| 1 取得する動産 | 学校ネットワーク改善用機器類購入 |
| 2 契約の方法 | 一般競争入札による契約 |
| 3 取得金額 | 金 93,167,250 円(税込み) |
| 4 契約の相手方 | 山梨県笛吹市境川町三柵 301
株式会社ジインズ
代表取締役 廣瀬 光男 |

提案理由

学校ネットワーク改善用機器類購入について動産の取得をしたいので、笛吹市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分の範囲を定める条例第 3 条の規定により、本案を提出するものである。



物 品 売 買 仮 契 約 書

1. 契約番号 5083000037
2. 件名 学校ネットワーク改善用機器類購入
3. 契約金額 金 93,167,250円
(うち取引に係る消費税及び地方消費税 8,469,750円)
4. 品名規格等 別紙のとおり
5. 納入期限 令和8年11月27日
6. 納入場所 笛吹市内
7. 契約保証金 財務規則第156条の規定により免除

この物品売買契約について、買受人と売渡人とは、別添条項により仮契約（以下、「本件仮契約」という。）を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、本件仮契約は笛吹市議会の議決がなされたときに本契約となる。ただし、議会の議決が得られないとき、本件仮契約は無効となる。

この契約の証として本書2通を作成し、買受人及び売渡人が記名押印の上、各自1通保有する。

（仮契約日）令和 8年 8月17日

買受人	住所又は所在地	山梨県笛吹市石和町市部77
		笛吹市
	職 ・ 氏 名	笛吹市長 山下 政樹



売渡人	住所又は所在地	山梨県笛吹市境川町三柵301
	商号又は名称	株式会社ジインズ
	代表者職・氏名	代表取締役 廣瀬 光男



（議決日）令和 年 月 日

